

6.3 教育方法のあり方

進捗状況報告

密度の濃い教育の成果として大手企業への高い就職率を維持している。研究面でも、国内外の学会等で受賞する学生（2007年度国内7件、海外5件）も多く、質的にも高く評価されている。2006年度に情報科学専攻の設置と平行して既存の専攻の定員増を行ったことにより、2007年度は修士課程在籍者数が大幅に増加している（大学基礎データ（大学基準協会）表18参照）。特に生命科学科で修士課程在籍者数が倍増している。また研究室間で学生数に偏りがあるなどの問題もあり、今後とも少人数教育が実のあるものとなるようシステムの改善に取り組んでいく必要があると思われる。

学内第三者評価

授業や研究指導において少人数制で密度の濃い指導が行われている。それと並行して、授業方法のあり方について研究科全体としての取り組みが進むことが望まれる。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
記述なし。